高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　芸術　科目　書道Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：書道Ⅰ　　単位数：70　単位：2

対象学年組：第　1 学年　1 組～　8 組

教科担当者：

使用教科書：　『書Ⅰ』（光村図書）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるように

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培

科目　書道Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			漢仮	漢	仮						
1学期	ガイダンス	・書道で学習すること ・書写から書道へ ・年間授業計画と評価								○	2
	漢字の書　篆刻 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解できるようにする。　・書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できるようにする。　・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けるようにする。 ・古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できるようにする。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組む態度を養う。	指導項目 ・用具・用材と扱い方 ・漢字の変遷と書体 ・篆書の基本 ・選文・検字、布字、運刀、完成まで		○		○	【知識・技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 ・書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 ・古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付けている。 【思考、判断、表現】 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。　・意図に基づいた表現について構想し工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	漢字の書　楷書 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解できるようにする。　・書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できるようにする。　・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けるようにする。 ・古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できるようにする。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組む態度を養う。	指導項目 ・唐の四大家に学ぶ楷書の基本 ・古典の臨書 ・古典を生かした創作 ・落款		○		○	【知識・技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 ・書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 ・古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付けている。 【思考、判断、表現】 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。　・意図に基づいた表現について構想し工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
2学期	硬筆、ペン字 【知識及び技能】 ・実技について、硬筆書写一般の技術及び知識をもって書けるようにする。　・理論について、硬筆書写一般の知識・理解を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体について構想し工夫できるようにする。 ・目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に書写力向上に向け、硬筆の学習活動に取り組む態度を養う。	指導項目 硬筆書写の技術及び知識の習得と実践文字の正確性や美しさ、書式など ・速書き ・楷書と行書 ・漢字仮名交じり文 ・はがき ・掲示 ・漢字の部分の名称 ・筆順 ・草書を読む ・漢字の字体 副教材『新版応用ペン習字』使用	○			○	【知識・技能】 ・実技について、硬筆書写一般の技術及び知識をもって書いている。 ・理論について、硬筆書写一般の知識・理解を身に付けている。 【思考、判断、表現】 ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体について構想し工夫している。 ・目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に書写能力の向上に向け、硬筆の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	漢字の書　行書	指導項目									

	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性】 ※指導目標：１学期の漢字の書と同様	・行書の基本 ・蘭亭序 ・書道コンクールに出品する臨書作品の制作 ・漢字の書のまとめ		○		○	【知識・技能】 【思考、判断、表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ※評価規準：１学期の漢字の書と同様	○	○	○	20
３学期	仮名の書 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解できるようにする。 ・線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できるようにする。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けるようにする。 ・連綿と単体、線質や字形を生かした表現の技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できるようにする。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組む態度を養う。	指導項目 ・高野切第三種 ・蓬莱切 ・仮名の成立と種類 ・仮名の筆使い ・平仮名と変体仮名 ・連綿 ・古典を生かした創作			○	○	【知識・技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 ・線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 ・連綿と単体、線質や字形を生かした表現の技能を身に付けている。 【思考、判断、表現】 ・古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解できるようにする。 ・名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解できるようにする。 ・目的や用途に即した効果的な表現の技能を身に付けるようにする。 ・漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成について構想し工夫できるようにする。 ・目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫できるようにする。 ・名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組む態度を養う。	指導項目 ・漢字仮名交じりの書とは ・漢字と仮名の調和		○		○	【知識・技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 ・名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・目的や用途に即した効果的な表現の技能を身に付けている。 ・漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。 【思考、判断、表現】 ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成について構想し工夫している。　・目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。　・名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4 合計 70